社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和08年09月29日

計画の名称	飛騨市公園施設長寿命化計画（防災・安全）													
計画の期間	令和０３年度　～　令和０７年度　(5年間)									重点配分対象の該当				
交付対象	飛騨市													
計画の目標	飛騨市では、現在３８箇所の都市公園が供用されているが、設置から長い年月が経過しており、今後進展する老朽化に対する安全対策及び改修・更新費用の平準化を図る必要がある。 このことから、予防保全管理を進めるため「公園長寿命化計画」を策定し、本計画に基づき計画的な施設更新を行うことで安全確保及び利用促進を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	200	A	200	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R3当初）	（R5末）	（R7末）
1	公園長寿命化計画に従い、令和７年度までの５年間で緊急度の高い、判定基準C以上及び耐用年数の９割を超過している公園施設の改築・更新の達成率を６３%に増加させる。			
	改築・更新を必要とする緊急度の高い（判定基準C以上及び耐用年数９割以上）公園施設における更新達成率 公園施設の更新達成率＝長寿命化対策済み公園施設数（21基→72基）／長寿命化対策が必要な公園施設数（115基）	18%	47%	63%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000778864

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R03	R04	R05	R06	R07	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	飛騨市	直接	飛騨市	－	－	公園施設長寿命化対策支援事業	公園施設の改築・更新　N＝17公園	飛騨市	■	■	■	■	■	200		策定済
											小計						200		
											合計						200		

案件番号：　0000778864

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
関係部署（基盤整備部建設課）により実施	令和8年度
	公表の方法
	市ホームページによる

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	遊具の更新により施設の長寿命化と長期的な維持管理の効率化が図られ、安全に使用できる環境が整備されたことで、市民の安心・安全な公園利用に大きく寄与し、市民サービスの質が向上しました。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	遊戯施設等の更新により都市公園の安全な利用が可能となり、利用者が増加したことで、地域のにぎわいの創出に貢献しました。

○特記事項（今後の方針等）

安全性と利便性の確保を最優先事項とし、日常・定期点検の結果より施設の老朽化・状況変化を継続的に把握し、緊急性の高い施設を優先しながら重点的かつ効率的な維持管理を行うことで、利用者の安全・安心の確保に努めます。また、時代の変化に伴う公園の利用方法の変化に対応し、市民の要望や利用者との協議を通じてニーズを把握しながら、施設の統廃合にも配慮しつつ効果的かつ効率的な施設更新と長寿命化を目指します。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	更新達成率		
	最　終 目標値	63%	物価変動や遊具の劣化状況の進捗に応じて調整した結果、劣化の激しい大型施設を優先して更新し、また劣化の軽微な施設の更新を見送ったため、目標と実績に差が生じた。未実施となった施設は、今後施設状況を踏まえ対応を検討していく。
	最　終 実績値	58%	

案件番号：0000778864